

# ★神戸の集いから

★旧嵯峨御所大覚寺55世門

跡味岡良戒大僧正を囲む会  
旧嵯峨御所華道総司所と  
神戸司所の主催による「い  
けばな展」と、味岡良戒大  
僧正の「墨跡展」が、旧嵯  
峨御所大覚寺五十五世門跡



盛大に行われた集い

晋山記念として、バルパ  
ローレとギヤラリー・バルパ  
ローレで、11月4日～9日に  
開かれた。

このオープンを記念して  
4日の昼、風月堂ホールで  
味岡大僧正を囲む会が開か  
れた。味岡大僧正を初めと  
する大覚寺の面々。神戸新  
聞社光田会長、藤網社長、  
吉田多年甫、吉田泰己さん  
を初め約二〇〇名が集う会  
で、「墨跡展」も、大僧正の  
名筆で話題を呼んだ。

★大衆文学研究会関西支部  
の集いハナワグリルで

11月4日大衆文学研究会

関西支部（春木一夫会長、  
松原清人事務局長）の例会  
が、元町バルパローレのハ  
ナワグリルで開かれ、約三  
十名が集った。

この会は、大阪に事務局  
を置いて開かれていたが、  
二年間休会していたのを春  
木会長が、神戸で再び活性  
化したもの。当日は、春木  
一夫夫妻、松原清人、藤原  
善久、河上民雄、富永滋人、  
西岡まさ子、水野正巳、三  
木智、赤尾恵以、中野友拡  
さんが集った。



これからの活躍が期待される

事務局／神戸市垂水区高丸  
六丁目五ノ三三五、松原清  
人方（電話〇七八（七〇九）三〇  
三八）

★下村宏銅版画展に集う

北野坂にあるギヤラリー・  
神戸時代で、高松在住の銅  
版画家、下村宏さんの展覧  
会が12月1日～17日まで開

かれた。初日のオープニン  
グパーティーには下村さんの



下村さんを囲んで

友人や画廊のオーナーなど  
たくさんの方々が集まり、  
展覧会の開催を祝福した。

★関西合同三田会開かれる

年に一度開かれる慶応義  
塾大学の卒業生による「関  
西合同三田会」が、去る11  
月28日、大阪、京都、宝塚  
近江、姫路、神戸の各慶応  
倶楽部と奈良、和歌山、関

西婦人の各三田会のメンバ  
ーら約500人を集めて神戸ポ  
ートピアホテル借業の間で  
開かれた。



慶応一色のパーティー

浜根康夫神戸慶応倶楽部  
会長の歓迎の辞が始まり、  
井上徳治関西合同三田会会  
長のあいさつ、石川忠雄塾  
長の祝辞などの後、宝塚歌  
劇団月組のショー、オーク  
ションで会は盛り上がり、応  
援指導部OBの伴奏で「慶  
応賛歌」「若き血」などを全  
員が肩を組んで大合唱。竹  
田二郎姫路慶応倶楽部会長  
のあいさつで慶応一色の大  
パーティーが閉じられた。

## ♥小泉パーティご案内

小泉パーティは  
結婚を希望する男女にお見合や愛好会  
によって健全なご交際のお手伝いをい  
たします。身元の確かなことは良縁の  
第一条件です。身元の確かな方々の会  
員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

神戸マリッジへ（無料）

楽しいご婚礼のお買物をご予算に応じてプラン  
ニングし、神戸の一流の専門店をご紹介します。

《協賛店》

家具の江戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき  
紳士服のニッケショールーム・和装のみよしや  
旅行の日本旅行・他各種の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は  
事務局 〒650 中央区江戸町100 高砂ビル510  
コミュニティサービス内392-0200 小泉正巳

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

＜神戸のファッション都市化をめざす＞

# K. F. S. news 79

事務局／神戸市中央区東町113-1

月刊神戸っ子内TEL (078) 331-2246

## ●11月のマンスリーサロン

### ひとづく 「人財」第2回



「人財」をテーマとした2回目の講演は11月19日、センタープラザ16Fでモロゾフ様の松宮常務にご登壇願った。

ダンディーな松宮常務は、終始笑顔絶やらず、ソフトな口調で、聴衆者達を魅きつけ、しかも貴重な内容に語られた。

初めに、この不況時にあって、なぜ東京の伊勢丹と西武百貨店は好成績をあげているのか——それは、生活頭を持つ女性と企業頭をもつ男性がうまく能力を発揮しあっているからで、これからの企業は、生活に密着した発想が得意な女性とうまく協力しあっていく企業が発展するだろうと話された。次にモロゾフ様の社内に

## 必要なのは 生活頭と企業頭

＜モロゾフ様常務取締役＞

### 松宮 隆男

おける人事教育について説明。まず従業員には会社の理念を明確に理解させ、同じ目標をもって、行動を伴うことが重要である。そして他社ではやっていないことをやることによって競争に勝てるだろうと締めくくられた。因みに同社の研修では①良い環境と良い食事②グループ討議③ビジュアルな資料の3点を基に社員研修が実施されている。

講演中には同社のチョコレートを配られたり、自社PRにもがそつなく、さすが営業畑の重役と一同感心したのであります。

### ●ドライフラワーで四季 の花飾り展

KFS会員の高橋登起子さんが、さる11月30日～12月5日、ギャラリーあじさいでドライフラワーの展示会を開かれた。「まず種まきから作業が始まります。庭の雑草なども素材になりますね」会場に訪れた美術家諸氏の間でも「素晴らしい」と好評だった。



高橋さんと作品

## ●新入会員紹介



南 飛煥／長田区庄山町2-1-29 千鶴ゴム工業所常務 (576) 2568  
靴の製造に携わっております。神戸ファッションの動向を共に探りたいと思います



李 鍾實／長田区西尻池1-2-1 南 大成商事勤務 (642) 3711  
夢と現の端境に心を浮浪させる楽しみを会の中にも呈すればと考えます。



千葉環璃子／中央区楠町7-3-1 仏教会館1F 瓢花 (371) 0116  
日本の伝統をはぐくみながらも、ユニークな店造りをめざしています。



秋山晴功／須磨区戎町4-1-27 大和商店代表者 (734) 6716

## ●1月の新年会・理事会

日時／1月14日(金)午後6時半

場所／赤垣別館(てっちり)

会費／7000円(2000円は会持ち)

新年を迎え、会員の皆様の交流を図るため新年会を催します。スイング第2号の発行についても話し合います。

## ●2月の理事会

日時／2月4日(金)7時半

場所／全但ホテル千石船

## ●2月のマンスリーサロン



日時／2月18日(金)7時

場所／勤労会館403号室

講師／高橋行夫(大木工務店人事部)

人財の第3回目。職場の人間関係、特に管理、監督者のタイプと

その必要条件についてお話しいただきます。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。(受講料／1,000円、会員の方は不要)

## FASHION●REPORT

田中千代学園50周年記念ショー「50年のモードの歩み」より

## 機械にできない人間味ある服を。

田中千代△デザイナー・田中千代学園院長▽



50年のモードを語る田中千代さん

生徒六人の洋裁グループから始め、現在芦屋にある学園が創立五〇周年、東京学園は二十五周年、短期大学は十周年を迎え、また、日本の服飾界の創始から発展への推移のなかで、皇后さまのデザイナーとして脚光を浴び、カネボウのデザイナーとして、また、民俗衣裳のコレクションとして、常に「着る」という原点を考えながら手掛けた田中千代さんの一万点の作品から二五〇点を選び、その生き様をショーにした、田中千代学園創立五〇周年記念公演「1932〜1982・50年のモードの歩み」が、大阪サンケイホールで十一月十三日に開かれた。

ショーは、1928（S3）年、先頃他界された夫君

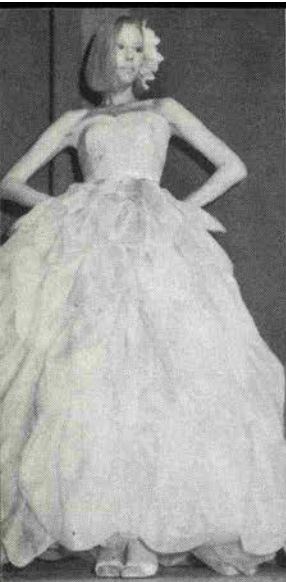
田中薫氏と同行して渡欧、パリでモードに開眼し、パウハウスの元教授オットー・フォン・ハスハイエ教授との出会い、帰途カネボウの創立者武藤山治氏との出会いが、この道を歩むきっかけとなり、1932年（S7）に神戸・御影で「阜会」という小さな洋裁グループを開く。

その出会いが紹介されながら1935年（S5）帝国ホテルで、日本初のフロアショーが開かれ、当時の人気女優入江たか子の兵児帯とロングスカートのドレスが登場、又、ベルエポック調やパジャマドレス等が現われる。

1938年（S13）から民俗衣裳の収集を開始。1941年（S16）に太平洋戦争が始まりファッションの灯が消え、1945年（S20）終戦。いかり肩スリーブのミリタリー調等が登場し、1947年（S22）戦後初のショーを文楽座で開き、デイオールのニュールック、フレアスカートを発表したころのモード紹介。1949年（S24）共立講堂で十五周年のショー「世界の風俗」で民俗衣裳の公開。1950年（S25）ニューヨーク大学に留学し「ニューキノ」を発表。当時話題の「市松」「金

華山コート」「葉平格子」などが舞台に。1952年（S27）N・Yよりモデルを招き「田中千代グランドショー」を、東京、大阪で開き「ニュロロマンス」の作品が。1953年（S28）エリザベス女王の戴冠式の取材と、日本初のデイオール、オートクチュールの型紙買付けに渡





右上は博多帯のミニスカートとフィナレーの田中千代さん。左はシルクのイブニング。

欧。大阪、東京で紹介のショーを開きパリへと目が向く。チュエリッブライン、Hライン、Aライン、Yライン等アルファベットラインの全盛作品登場。1957年（S32）東京校開設、ビーチウェアやサックドレス等がカリブソ、ロカビリーの流行と共に。1962年（S37）創立30周年記念のショーが開かれ、1963年（S38）にパリで日本の絹織物を使ったショーを開く。ミニスカート全盛時代となり、1967年（S42）日航の世界一周路線開設記念にN・Yでショー。東京、大阪で「江戸からスペースエイジ」の35周年のショー開催。日本の布地を駆使した吉原つなぎのジャンプスーツや、博多帯のミニスカート等の一連の作品と、メタリックドレス、グラデーション、ストライプイブニング等が。1972年（S47）短期大学設立。ミニ、マイクロミニ、ミディ、マキシ共存の時代。ここで民俗衣裳を見直し、現在のパントルックの原点を、トルコ、パキスタン、ネパール、

インドに見る。1974年（S49）オイルショックの影響に、ビッグ・ルックやコディネイト・ルックが。1978年（S53）創立45周年記念のショー「地球は着る」で50年間に収集した民俗衣裳の披露。合成皮革の異素材の出会い。1982年（S57）電子工業の時代に人間味あふれるリボンレースのウェディングや、オーガンディのティアドレスが紹介され、田中千代さんが登場して幕。千代さんは「関西は仕事のふる里です。卒業生がいっぱいで、ほんとに懐しくて涙が出て来ますよ」と嬉しそう。そして、

「これだけ、コンピュータ、ロボット、レーザー、カラー等の電子工業時代で、機械の出来ないことをやらなければいけない。人間らしい服づくりをしなくては。だから若い間に人間らしい感激を身につけないと、機械みたいで、動物みたいになってしまふ。親切なもの、ドレープなものとか手のかけたものを創らないとダメでしょうね。今日の私のきものは弁慶の勳進帳の文字をデザインしたんです。私の父は歌舞伎ファンで、私も長唄をやっておりましたが、父は戦争のショックで亡くなりましてね。今日は明治、大正、昭和と関所を越えて来て、それも皆さんに見に来ていただいたおかげで関所を越えられましたので、勳進帳の弁慶の気分になって……」。でも子供の頃の影響は強いもので、私の中に和洋折衷があるのも、そのせいですね。今、デザイナーに何が必要かといわれると創造力。日本人は外人よりとまどっている瞬間が長いんですよ。何でも挑戦する、工夫をするという気がないと……。それには、若い間に「感激」を持つ事が大事ですね。私なんか、オペラを観たらワーワー泣いて感激して涙流しながら、洋服を生命がけで創りましたものね。」

少女の頃のイブニングへの憧れが、今も「女の夢」へと育くまれ、創意と熱意と愛情でモードを創り、人づくりをして来た五〇年の田中千代の歩みは、日本の、いや、地球のファッション史でもあった。

HEART IN NEWYORK 〈3〉

# DISCO・54で 更けた夜…

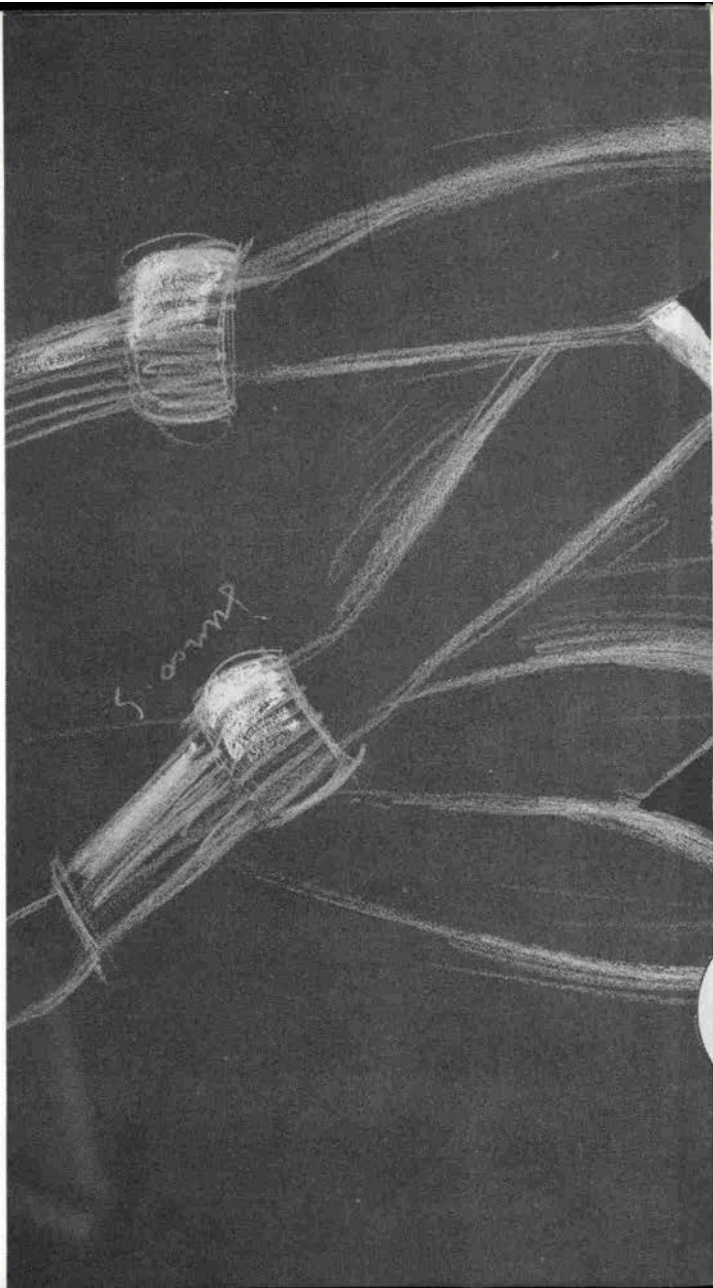
えと文 篠原 順子 〈スチリスト〉

NEUE MODE MÄRCHEN 60





最も現代的で人間くさく、ビリビリした大都会、ニューヨーク。可能性ある者だけが生きて行けるかのごとく、ボンヤリしていたらとに残されそうな、そんな感じを受ける街。今ビリー、ジョエルを聞いている。タイミングよく、ちょうどニューヨークから手紙が来た。読みながら、ビリーのNY52番街をガンガン聞いていると、まあ、ちょっと雰囲気はイイのだ。さてその気分で原稿を書く。さて、有名ディスコ、スタジオ54に、足どりも軽ろやかに出かけた。スタジオ54の前は人がいっぱい、中に入れない人々が溢れて店の周りを取り囲んでいる。入口から2列に並んでいるので、何となくその中に入る。すると前の外人（外人はこちらの方なのだった）が、このキップあげる、と云ってチケットを、くれた。我々もそれを見せて、OK、ホイホイと、訳の判らないまま、スッと店内に入ってしまったのだ。あとで聞くと、ここはなかなか入れないそうらしい。店内はものすごい音響、レーザー光線、赤や青の光の矢が打ち込む、と云う感じ、50年代の映画がスクリーンいっぱいに写し出され、スイングジャズが流れ、しばらくすると、突然ロックに変り、ドライアイズとレーザー光線がド迫力でせまってくる。壁面いっぱいに、モノトーンの50年代の映画が写し出され、スイングジャズにテンポが変わる。しばし、その気分浸っていると、突然ロックに、忙がしい。参加する事に意義有り、と我々もしっかりその仲間に入ってしまった。少々グロッキー気味で外に出ると、まだまだ不夜城のこの街は、ギンギンに輝いていてエネルギーでエキサイティングな夜は明けそうもない。夜空にクッキリ、カルバン・クラインのポスター、何故か半裸のセクシーで健康的な男がニッコリ笑っている。この街は、男が充分見られる側に美しき被写体であり、花なのである。美しさが商品化されている。しかし、すべての人がヘルシイでセクシイ、知的で、スリムな事への努力を怠らない。男も女もトシも関係なくガンバっているのだ。





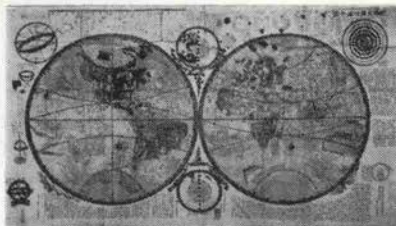
## 美術

### ★「南波松太郎氏収集古地図の世界」

1月15日(土)・2月20日(日) 休館日 毎月曜日、神戸市立博物館 大人500円、高・大学生300円 小・中学生200円

南波松太郎氏収集古地図の博物館への寄贈を記念して、寄贈品中の日本図、道中国、世界図をお披露目を兼ねて展示する。

氏の古地図収集歴は60余年にわたり、質量とも日本一である。地図学の研究資料としてあらゆる著者のものを幅広く、種類も限定せずあらゆる分野に及んでいるのが特色。米寿を記念し



円球万国地海全図 薩摩版 石塚崔高 享和2年(1802)の写し



## 舞踊

### ★東伸一矩ロルカを踊る「私はジブシ」

2月19日(土) 6時半 神戸文化ホール 3500円 前売・3000円

「厳しく激しい個性にうらうちされた、豊かな表現力と峻烈な足さばきを持つ、現代フラメンコ舞踊の第一人者」である東伸一矩が3年振りにリサイタルを開く「10年前からロルカを踊りたい」と思い続けていた。10年の時が流れ、僕は30代を迎え、スペインにも一年間留学した。20代の頃に見遇っていたロルカの詩に対する讃美を新たに感じ、それを踊りに表現してみたい」



東伸一矩



## 古典芸能

### ★第9回神戸五流能

15日(祝) 1部・10時 2部・2時 神戸文化ホール 1階席・4000円 2階席・3000円 学生・1000円



井 筒

能の世界には、宝生流・観世流・金春流・金剛流・喜多流の五流儀がある。これらが一堂に会して立合能を演ずるのは、関西では神戸だけである。今回もいい能組になっていて、一般の人達も大いに楽しめよう。

演目は一部・「巻絹」「井

筒」「黒塚」二部・「安宅」「富士太鼓」「鶴飼」である。

★お問合せは神戸文化ホール事業課 351-3535



## 演劇

### ★人形劇団クラルテ公演「モンゴルの白い雪」



モンゴルの白い雪

6日(木) 1時半 神戸文化ホール 1300円 前売1200円

モンゴルのはてしなき草原を白い馬とともにかける若者スホ……。白い馬をとおして、心結びあわせていった若者たちの生きざまを描く創作人形劇。

作/吉田清治 演出/西村和子 美術/吉田清治 音楽/曾根亮一 効果/安部昌男 照明/中村純隆 舞監/渡辺洋祐 制作/芳川歌子 吉井和子 志儀真由美 中山美津子 日限禮子

★この人形劇に愛読者10名様をご招待いたします。ご希望の方はハガキに住所、氏名、年令、職業を書いて神戸っ子編集室「クラルテ」係まで





## 映画

### ★映画「ブルートレインひとり旅」「対馬丸」

23日(日) 対・9時半 プ・10時  
45分 対・12時半 プ・1時45分  
対・3時20分 神戸文化ホール  
大人・1000円(前売・800円)  
小学・中学・800円(前売・600円)  
4才以上の幼児・500円  
子供達の憧れと夢を集めている夜行寝台特急——ブルートレイン。そのブルートレインを舞台にちよっとブルキチの6年生、主人公



ブルートレインひとり旅

たけしが出遇ったさまざまな人達の織りなす人生模様を描いた名作映画。  
出演/川津祐介、水野久美、上野都巳、永浜三千子、星野光司、大塚弘  
お問合せは兵庫興映画センター  
3316100まで  
★この映画に愛読者、大人10名様小学・中学生10名様、計20名様をご招待いたします。ご希望の方はハガ

## 音楽



★谷村新司  
9日(日) 2時 神戸文化ホール  
S・3000円 A・2800円 B・2500円  
★松岡まり子  
グアイオリン・リサイタル



## 古典芸能

4日(火) 1時半 明石市民会館中ホール 2000円 前売・1500円  
★第9回神戸五流能  
15日(土) ①10時 ②3時 神戸文化ホール 1階・4000円 2F・3000円 学生・1000円  
★桂米朝独演会  
4日(火) 1時半 明石市民会館中ホール 2000円 前売・1500円  
★第9回神戸五流能  
15日(土) ①10時 ②3時 神戸文化ホール 1階・4000円 2F・3000円 学生・1000円



## 演劇

★人形劇團クラルテ こども劇場  
「もりのゆうひんはいたつ」  
5日(水) 1時 3時半  
6日(木) 1時半 神戸文化ホール 前売・1200円 当日・1300円  
★化粧・渡辺美佐子  
26日(水) 6時半 ビッコロシ



## 美術

★兵庫県立近代美術館  
アート・ナウ'82  
村野藤吾展 12/11/1/23  
荒川修作版画展 11/30/1/30  
★東門画廊  
竹中省己「無象」展 1/3/9



## 映画

★市民映画劇場「9時から5時まで」  
20日(木) 21日(金) 6時半  
22日(土) 2時 神戸文化ホール 499円  
★親子映画会「対馬丸」「ブルートレインひとり旅」  
23日(日) 9時半 神戸文化ホール 大人・999円 小人・800円 幼児・500円 前売大人・800円 小人・600円  
★神戸市立博物館  
古地図展 1/15/2/20  
小磯良平展(2Fギャラリー) 1/15/2/20  
★たじま画廊  
半どんの会展 1/6/1/18

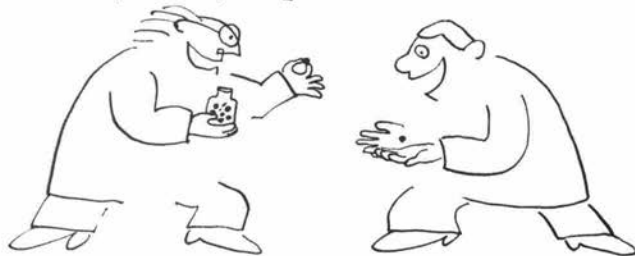


グリース2

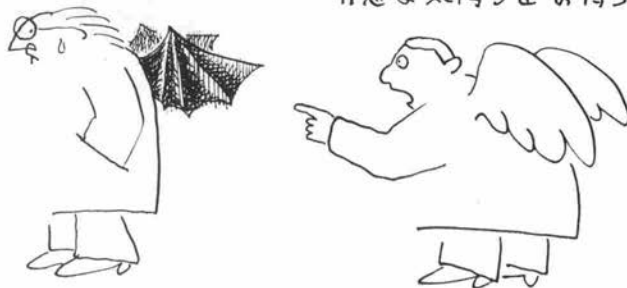
★ミュージカル超大作  
「グリース2」  
トラボルタとオリビアで話題を呼んだ「グリース」の続編「グリース2」主  
演は「80年代のジェームス・ディーン」といわれるマックスウェル・コールフィールド、スペシャルゲストに往年の青春スター、タブ・ハンター、コニー・ステイブンスが出演。複雑なステップで踊りまくる迫力満点のダンスシーン、ヒット曲が全編に流れる若さいっぱいミュージカル。  
1月下旬より神戸国際公園に公開  
★この映画に愛読者10名様をご招待いたします。ご希望の方はハガキに住所・氏名・年令・職業を明記して神戸子編集室「グリース2」係へ



つばさ もし  
「翼の素」の完成だ！  
この薬を飲めば  
我々は、一時間ほど  
天使のように 翼を持ち  
大空を飛びまわれるであらう！



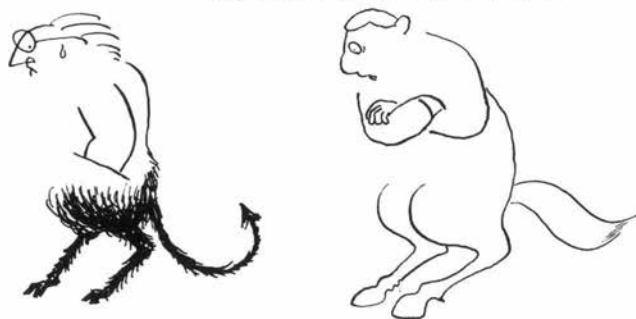
教授！  
もしかすると  
邪悪な気持ちをお持ちでは……？



はやあし ちと  
 「速足の素」の完成だ！  
 この薬を飲めば  
 我々は、一時間ほど  
 馬や鹿のごとき下半身で  
 大地を駆けまわれるであらう！



教極の場合。  
 「翼の素」といふ薬に 服用することだけは  
 さけたほうが いいようですな

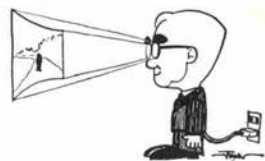




●ふらっしゅ●ばっく●

# ことし(82)の扉を 閉めるまえに

淀川 長治 (映画評論家)



★「黄昏」。いろいろと見せどころを持つ映画。フォンダ父娘の握手。キャサリン・ヘップバーンの好演。老夫婦の美しさ。そして娘が子持ちの彼氏をつれてきた現代感覚。すこしあまやかされた映画だが誰の心をも濡らす。

★「レッズ」製作・監督のウォーレン・ビーティが背伸びしたこのエリート振り。

★「炎のランナー」この映画の監督・出演者・音楽・すべてのスタッフに感激の敬礼。この映画をまだ見ておらぬ人は……まさか、ないでしょうな。ことしの最高ノルキノ・ヴィスコンティの舞台劇。そしてまちがいのなきルキノ・ヴィスコンティの映画。

★「父、パードレ・パドロネ」イタリアには映画監督が美術画家・文豪、有名作曲家と同じ位置を今も示し得る監督が新しく登場する。そのイタリアの映画エネルギー。

★「マジック・ボーイ」なんでもないけれど、ちよいと、いいアメリカ映画。

★「メフィスト」ハンガリー・西ドイツ合作。二時間二十五分。戦前ドイツのウファ映画よみがえる。見ごたえあって嬉し。

★「未知への飛行」一九六四年度のシドニー・ルメット監督作。アメリカ映画がアメリカを見せた秀作。見落す勿れ。

★「コナン・ザ・グレート」御苦労さんでありました。ニッポン刃(いば)ニッポン・カタキウチ。ニッポン伝説ヤマタノオロチ。ジョン・ミリアス監督のこの日本ごのみ。

★「サマー・ナイト」ウディよ、あまり気どりに給うな。

★「ミッシング」ああ、しんど。コスタ・ガブラス監督いつべん笑ってみせてくれないか。

★「ワン・フロム・ザ・ハート」この映画狂のコッボラ。見ていて可愛いく、いいよ。

★「ロアーズ」。映画はなんでも見せる。家に帰ってもライオンの顔が目の前にちらつく。ゼニは見てのおかえり。ふしぎな人(飼い主)がこの世にいるもの。見て損はすまい。

★「少林寺」少林拳の本物チャンピオンがかかる美少年。このリー・リン・チェイを見るためにもこの映画を見るべし。

★「フォー・フレンズ」ことしの収穫のひとつ。アーサー・ペン監督はエリア・カザンに近づいてきた。

★「わたしは女優志願」小川のきれいな水の中にきれいな小石を見つけた感じ。ニール・サイモンの当り芝居の映画化。いかにもネ。

★「ハンキー・パンキー」ボワチエの監督。ジーン・ワイルダーの主演。できそこない。

★「ニッケルオデオン」ボグダノヴィッチにしてはタッチが弱すぎた。

★「誓い」オーストラリア映画が、映画の品格を見せた。きびしく美しく悲しく。

★「アレクサンダー大王」三時間二十八分。テオ・アンゲロプロス監督のギリシャ、イタリア、西ドイツ合作映画。前衛映画とイタリアン・リアリズムこれにギリシヤ



左より「ワン・フロム・ザ・ハート」「マジック・ボーイ」「父」「若者のすべて」「炎のランナー」「黄昏」



左より「メーカー・ラブ」「愛と青春の旅だち」「1900年」「クリスチーネ・F」「ゲームの規則」「アレクサンダー大王」「わたしは女優志願」

- の歌を加えたとてもいい努力大作。美術品。
- ★「ゲームの規則」ルノワールの一九三九年作。ルノワール自身も出演のこのルノワール・タッチ、このフランス・タッチ。名人芸。
- ★「人類創生」このフランス映画もつと評判をとつてもいい。ロマンがある。
- ★「クリスチーネ・F」このドイツ映画にドイツ映画のしよねを見た。いかにもドイツ映画らしい。ヤク常用地獄をこれくらいきびしく残酷に見せる……映画はこの使命ありだ。
- ★「ハンガリアン」一九七七年度作ハンガリー映画。きびしさを、やわらかく見せた。
- ★「無人の野」一九八〇年度作ベトナム映画。つまらぬアメリカ映画よりずっと巧い。
- ★「エルネスト・美しき少年」イタリア・スペイン・ドイツの共作。同性愛というよりもそのものずばりの男色を描いたサルバトーレ・サンペリ監督の注目作。
- ★「愛の奴隷」。またしても、ニキータ・ミハルコフ監督のこのエレガント。
- ★「鉄の男」。アンジェイ・ワイダ監督ファンに捧ぐ。
- ★「1900年」五時間十六分。ベルナルド・ベルトルツチ映画。「暗殺のオペラ」「暗殺の森」「ラストタンゴ・イン・パリ」「ルナ」のこの監督の作品中では一番わかりやすい映画。しかも一番面白い映画、しかも一番ほのぼのと描いてみせた映画。
- ★「愛と青春の旅だち」リチャード・ギアの代表作となるであろうパラマウント映画。
- ★「メーカー・ラブ」アーサー・ヒラー監督がホモセクシアルをまともに描く。
- ★「フランス軍中尉の女」思ったほどでなし。
- もしもことしに「E・T」「アニー」を加えるともう紙数なし。いや……「カリフォルニア・ドールズ」「デュエリスト」「終電車」「ニジンスキー」「ロッキーマン」「四季」などまだ……あった。



# 風吹

## △13▽ 度忘れ正月

「正月や冥土の旅の一里塚、めでたくもありめでたくもなし」

正月早々から縁起でもない、と、いうところだが、昔の人は正直なことを言ったものだ、と、感心し、実感しているこの頃である。年が改まって、何もかもが新しくなるものならと思うことである。数十年も使い古した己の体も、各部分にいたみを生じ、五臓六腑の「部品」を取替えるすべもなく、修理を重ねながら、ヨタヨタと走っているオンボロ自動車のようなものだからだ。

体もだが、頭脳あたまの方も思考力があやしくなり、特に記憶力がダメになった。電車の中とか、街の中で、どなたかに、

「ああ孟センセこの間はどうも……」

と突然声を掛けられて、

「どうも……どうも……」

と、何処のどなたかとも思い出せず、挨拶を交して、そそくさと別れる。それも、街中なら、割合い早足で歩く癖が幸いして、いかにも忙しそうに見えるらしいので記憶喪失がバレずにすむ場合があるが、これが、電車の中だと始末が悪い。

「お忙しそうですなア……」

と言ってくれても、その場を立ち去るわけにいかないからである。どこで会った人なのか思い出せないまま、探り探りの返事をして誤魔化しているつもりが、先方がそれと察して記憶を呼ぶよう親切に誘導してくれるのである。

きっと△孟さんもボケたなア：▽と思っていたに違いない。亡くなった先輩の畑専一郎さんが生前、よく、





ガタゴトガタゴト

「俺がボケて来たら教えてくれよ」

と言っていたのを思い出す。出来るなら忘れっぽくなったついでに年齢も忘れたいのだが、正月は年月を思い出させる。だから正月は嫌いだ。

この間も、関電の電気記念日のパーティーの帰りに、貿易センタービルの地階の喫茶店での熟年の「お忘れ談義」である。

「兵庫詩人」の綾見鎌さんと作家春木一夫夫人のあや子さんと私の三人、

「忘れっぽくなりましたなア…」

「ほんまに」

「この間もホラ……アノ……テレビによく出る、

アノ……ナンヤラノ……コマーシャルにも出とる女の子…」

「ウン……ナンヤラいう……ホレ……」

と言えば、

「アーアーあれね……ウンウン」

と、お互いに名前は出て来ないのに了解し合う。まるで、「手話」で会話が成立しているみたいだ。熟年同志は便利なもの、多くを語らなくても記憶力を補う勘が働くようだ。こんな時、記憶力の若い店のウェイトレスもニヤニヤ笑っていないで、正確に教えてくれりゃいいのと思ったのだった。そこで、

「お互いにこれからは堂々と度忘れしよう」ということになった。それは、

「我われ熟年は戦後の廃墟から我が国をここまで繁栄させた年代である、若い者は年長者の度忘れを補う義務がある筈だ」

「若い世代は我われの秘書となるべきなのだ」

と、まあ酒の勢いは阿呆なことを言わせるものだ。まあまあせいぜい長生きしまひよ。



## ポケット ジャーナル



### ★小磯良平画伯 芸術院会員に。

本誌の表紙を二十年近く飾っている新制作美術協会の小磯良平画伯が、昨年の文化の日に芸術院会員になられた。昨年は病からも立ち



良平 小磯  
直られてマ  
れ、毎朝十  
時からモデルがやってくる

と、さっそく制作にとりかかるという日課も続いている。友人の故竹中郁氏が存命なら、この芸術院会員になられたことをともに喜ばれたらうと、一周忌が近づいて想われることでもあるが、小磯画伯のご健勝を心よりお祝したい。

### ★先端技術の粋を集めて

神戸ポートマック'83開催  
21世紀を拓く先端技術が一堂に会した「神戸ポートマック'83」(ポートアイランド機械機器見本市)が、3月17日から20日まで神戸国

際展示場で開かれる。

これは、21世紀に向けて人類の夢を追求したポートピア'81の精神を受けつぎ、内外の先端技術、新鋭機械機器を神戸に集め、技術革新時代にふさわしい先端技術の情報交換の場を設けようとの主旨で開かれる。

会場は(1)自動化・省力化コーナー(2)海洋・舶用機器コーナー(3)省エネ機器コー



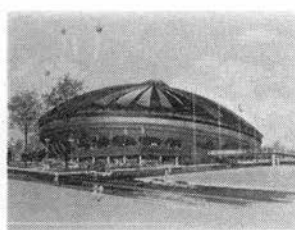
神戸国際展示場

ナー(4)OAコーナー(5)兵庫展示される予定である。出品これを機に日本の産業界の国際化が促進されること

を期待したい。

### ★神戸にプロ野球誘致

日本初のドーム付野球場名ブランナーとして知られる宮崎辰雄市長の発表した青写真によると、観覧席を含めた全面積は、3万5千平方メートルで横浜球場クラス。ほぼ円形でホームベースからセンターまでが



ドーム付野球場の青写真

180メートル。直径182メートルの丸いドームにおおわれ屋根の高さは最頂部70メートル。王子陸上競技場跡が建設候補地とされ、ユニバースアド神戸大会開催の60年以降に建設予定。

### ★ベルシヤ美術の館開館

三笠宮さまが訪問

北野町、うろこの家のすぐ南に11月18日オープンした異人館「ベルシヤ美術の館」(ダマ・ロッシヤンさん経営、ジェイ・グラック館長)へ、21日夕、オリエント学者として知られる三笠宮崇仁殿下が訪問された。

誕生日  
ありがとう

運動



新年 あけまして

おめでとうございます。

本年の重点目標

いつも 誕生日がありがとう運動の推進にお力添えをいたいただきありがとうございます。

本運動は、昭和四十年五月に神戸市長田区の室内小学校の障害児学級の担任が始まりました。本年の五月で満十八年を迎えます。これもひとえに全国のみなさんのあたたかいご支援のためです。心から厚くお礼申しあげます。本年の重点目標としては1啓発映画「小さな輪、大きな輪の上へ」ハミリ カラー 上映時間三十分 無料貸出し 昨年三月完成以来全国各地で上映され、貸出用の三本のフィルムでも足りない時もありました。今年もさらに各地でどんどん上映してください。

2啓発図書「ちえあぐれの話」の頒布、昭和四十四年初版発行から現在第七版六万三千冊です。個人購読・学校・施設などいろいろなところで活用され、啓発の大きな力となっています。今年も、一人でも多くの人に、呼びかけていきます。

3古切手の収集・整理・販売 運動資金づくりの一助に使用済古切手を収集しています。全国の多数の方からいただいた古切手を、ボランティアの手で整理・販売しています。ここ数年どんどん業績があがっています。今年もい

その発展を願っています。誕生日がありがとう運動本部 65 神戸市中央区御幸通八の六 神戸国際会館一階郵便局の隣 電話 二五一八一六 一内線三二六



三笠宮殿下を囲んで

戸ファン熱の熱弁に満場の講堂は熱気に包まれた。

### ★日独文化交流願い

愛蔵の版画を公開

さる11月27、28日、県立

近代美術館で「ヨーロッパ

版画特別陳列—デュラ

からベックマンまで—」が

開かれた。出展された版画

はクルト・アンドレーエ駐

大阪・神戸ドイツ連邦共和

国総領事ご自身のコレクシ

ョン。今回は愛蔵の800余点

の中から代表的な作品103点

を公開、16、18世紀の木版、

古代オリエント史、考古学に造詣が深く、日本オリエント学会名誉会長でもある殿下は、グラック館長とも20年来の知己であり、その日開学での学会のあと駆けつけられ、本物のベルシヤ美術品の数々を満喫された様子だった。

□ベルシヤ美術館の入館料300円 1Fベルシヤの民芸品、2Fベルシヤ陶器展 電話222-0081

### ★「神戸の味」座談会開催

冬の神戸観光キャンペーンに向けて、11月26日、市立博物館講堂で、「神戸観光シンポジウム」が行なわれた。神戸講師アリスティア・シートンさん、上原まりさん、末広真季子さん、小泉康夫本誌編集長らが体験をもとに討論、神戸



領事館員らに解説中の領事

銅版、エッチング等が中心

でどれも当時のヨーロッパ

の風俗習慣を理解するための

貴重な資料ばかり。アン

ドレーエさんは「父と同様、

私もいつしか版画収集に没

頭してました。これらの

版画を通してヨーロッパの

文化に触れていただけで

…。時間があれば、数多

い研究書にも目を通し、一

点一点に解釈を加えてみた

い」と抱負を語られた。

★三代揃って知香流三人展

華道の知香流、神戸市灘区深



写真は宗家の香桜と陶芸館の田中理事長

日町(電話81113)の宗家成

瀬香桜が六十五年、家元の

香梅が三十五年、香泉が二

十年と、花の道一筋に「知

真調和」をモットーに歩ん

できた親子三代の「知香流

三人展」が十一月六日・七

日・八日に、兵庫県陶芸館

で開かれた。

当日は陶芸館の秋季特別

展も催され、北大路魯山人

川喜田半泥子、小山富士夫

の三巨匠遺作展との併設で

話題を呼んだ。

### ★3年ぶりに新谷英子展

「夕映」「風韻」「陽光」「ま

どろみ」「蒼空」「曙」など、

自然の中でのびやかにくつ

ろぐ女達。立体・レリーフ、

ブロンズを25点、素描

が24点の新谷英子作品展が

11月4日、8日、兵庫県民

会館1F特別展示室で開か

れた。神戸市の奨励賞をう

けてからヨーロッパの旅に

十カ月廻り、3年ぶりの個

展だが、その健康なエロチ

シズムには独自の女の世界

があり、スケールが大きく

なった感じだ。

### 図書ガイド



### 世相歳時記

島京子



サンケイ新聞が毎月発行する「くらしの百科」に掲載された6年間の好エッセイ集。自然をこよなく愛し、人間に対する深い洞察が女性らしい感性で綴られる。関西弁、外人との交流は神戸のセン、現代若者批判、井戸端会議風は主婦の眼、古典の教養、季節の繊細な描写は作家の知性と、それがユーモアを含みつつ語られる。(砂子屋書房刊 1800円)

### 青玄秀句Ⅶ

伊丹三樹彦編



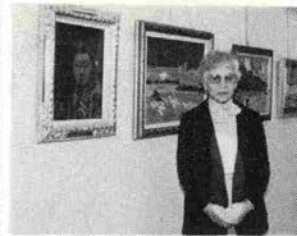
けるけるけれ活用暗誦 遠蛙(佐々木栄子) ふり返るたびに道見え、金木犀(竹本千恵子)年金を受けて 昼寝の長引いて(前枝数三) じいつと雲が見ている寒さ 働かねば(喜多正折)水牛が角振る ヒッピー村のロッタ(伊丹三樹彦) 現代俳句誌「青玄」の第七集である。新刊のあざやかさ、強烈なメッセージが脈打つ秀句集大成。(青玄叢書 1500円)



# ★山々の静ひつたる佇い

## 松岡寛一遺作展

神戸市消防局広報誌「雪」や宝塚歌劇団などの雑誌の表紙絵を描き続け、昨年6月、70歳で病死した洋画家松岡寛一画伯の遺作展が、さんちかギャラリーで11月催された。松岡画伯は旧制



故松岡画伯の作品の前で寡夫人

中学卒業後、戦後、二紀賞同人賞受賞、その後約20年間無所属を貫いた。その作品は、ヒマラヤや上高地の清潔感と崇高な澄明さに溢れ、特にガラス絵の力強さと美しい色調は人々の胸を打つ素晴らしきものだった★スイス菓子ハイジ

## 新社屋と工場完成

順調な業績の伸張とより一層のサービスの徹底を期するため、建設を進めていた株式会社菓子ハイジの本社、センター工場（ハイジアトリエ）が12月1日、落成式を迎えた。（施工：大工建設）白い壁と木の美しさを生かしたスイスの山小屋風の



左端が前田昌宏社長

竣工、披露パーティーで株式会社菓子エーデルワイス比良根毅社長が「ハイジ」の商標権をハイジの前田昌宏社長に無償でプレゼント思いがけない贈りものを手に「名に恥じないよう、より一層飛躍することを誓います」と抱負を語っていた。

# 花時計



## 壮大な大阪築城

## 四〇〇年祭の構想

いよいよ大阪の築城四〇〇年祭が、1983年10月から始まる。史上最大規模の文化イベントがいま着々と練り上げられている。第一次案33企画がスタンバイをしている。それぞれの企画が10種類に分れている。

- (1) 人間的な楽しさあふれる通りに「パレード・ストリート」大行事
- (2) 年末の御堂筋は光の海「ストリートアート」「御堂筋」
- (3) 光と花で幻想的な城「大阪城公園での行事」
- (4) 超大型音楽プログラム
- (5) 新しい日本「大阪城国際文化スポーツホール」
- (6) 本「新3大夏まつり」
- (7) 水の都「水上イベント」
- (8) 世界の「味のイベント」
- (9) 一流選手の華麗なゲーム「スポーツ行事」

のデザインの首都に「デザイン行事」(10) 国際文化都市らしいプログラムが「その他の大行事」といづれも大阪らしく超大とか大の文字をはいる。実際「御堂筋ビルデコレーションコンクール」とか「TOP・OF・THE WORLD・MUSIC・FESTIVAL」など、超大イベントが目白押しで猛烈なカルチャーショックで大阪が大浮上するだらう眠れる獅子が立ち上がった。

△ Y V

# KOBE POST

★川良雄さんの紫綬褒章受賞を祝う会が12月16日ホテル日航大阪5階「鶴の間」で開かれました。おめでとーございませう。

★神戸新聞出版センターの「兵庫県大百科事典」(予約定価4,400円)が9月下旬発行予定で、上・下2巻3,000ページの豪華本。定価4,900,000円予約受付中(332) 3,066

★信越放送のラジオ局営業部田島利雄さんのコーディネートで、2月3日4日と長野市の専門店グループが約30名「神戸セミナー」に参加。ワシントンホテルに宿泊して3日は永田良一郎、芹澤豊男小泉康夫のパネルディスカッション、4日は三浦明定さんを講師に迎えてのプログラムです。

★女流書家の望月美佐さんが十五周年を迎え、十五周年記念作品展を、大阪のダイコギギャラリー(天満橋北詰)で開き、そのぐらしに文字を「展のチャリティ前夜祭に「わらしべ学園」の子供たちを招いて「動の書」を2点オークションにし、贈呈されました。

★教育文化研究所の理事長三辺光夫さんは「教文研」の5周年と、「開て下さる」の5周年と、「共同ブレインセンター」を5周年記念パーティーを開かれました。★京都府歴史資料館(森谷八幡宮)が11月1日開館。これに伴い京都府市史編纂所は廃止し、業務は同館に引きつがれました。★京都府上京区寺町通丸太町上る松蔭町P M 5時、祝休

★朝日放送の小川久さん(照明)が転居。新居は〒102西秋葉台1丁目24番2号。9946732。★トア・ロードのパウリスさん、山田真知子さんと12月5日小豆島でコンサート。おめでとーございませう。

★ドッドウェルトラベル大阪の島村均所長が転居。新住所〒230308。7914811。★神戸市のデヴィナ・釜頭に愛い名です。★フッドスタイルの柴田直子さんの「志賀康三さんとアメリカ人リン」おめでとー